

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|---------------------|--|-----------|-----------------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 生活こども課 | 関連個別基本計画等 | 人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | I 一人ひとりを尊重する | | | | | | | |
| 施策目標 | 1 人権を尊重した考え・行動ができる社会を実現する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題や拉致被害者等の人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、市町村及びNPO法人等と緊密に連携し、講演会や研修会の開催、新聞・テレビ等を利用した広報等の啓発活動を行う。 ・性的少数者を対象としたパートナーシップ宣誓制度を運用する。 ・インターネット上の誹謗中傷被害の相談窓口の運営を行う。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 基本的人権が守られていると思う人の割合 | % | 67.2 | 75.0 | 実績 ③ | — | 73.6 | — | — |
| | | (H22年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | — | 82.1% | — | — |

(※)(実績－現状)÷(目標－現状) ((③－①)÷(②－①))

◆R4年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体と連携し、「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま」をオンラインで開催した。 ・群馬ダイヤモンドペガサス及びザスパクサツ群馬と連携し、オンラインで人権啓発動画を放映した。 ・パートナーシップ宣誓制度を運用するとともに、LGBTQ当事者を講師とした講演会をオンラインで実施した。 ・「インターネットによる誹謗中傷相談窓口」を生活こども課内に設置し、県民からの相談受付を行った。 ・新型コロナウイルス感染症を起因とした人権侵害事案の発生に伴い、民間団体と連携し、県民向けに啓発した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業を展開したが、コロナ禍により指標を評価するための意識調査を延期したため、実績評価ができなかった。 ・「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま」等、様々な新規の啓発事業を実施したため、人権尊重の意識が広まった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を凝らし、引き続き人権啓発活動や各種相談窓口を運営する。 ・令和4年度に意識調査を実施し、実績の評価を行う。 | | | | |

◆R5年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体と連携し、「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま」をオンラインで開催した。 ・ザスパクサツ群馬と連携し、オンラインで人権啓発動画を放映した。 ・パートナーシップ宣誓制度を運用するとともに、LGBTQ当事者を講師としたセミナーをオンラインで実施した。 ・「インターネットによる誹謗中傷相談窓口」を民間団体に委託して運用し、県民からの相談受付を行った。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま」等、様々な啓発事業を実施したため、人権尊重の意識が広まった。 ・前記イベントをはじめとしたオンラインを活用した各種人権啓発事業の実施等により、若年層を含めた多様な世代の人権尊重の意識が高まったため、基本的人権が守られていると思う人の割合が向上した。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を凝らし、引き続き人権啓発活動や各種相談窓口を運営する。 ・令和5年度に「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」を改訂し、社会情勢に合わせた啓発事業を推進する。 | | | | |

◆R6年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体と連携し、「ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま」をオンラインで開催した。 ・群馬ダイヤモンドペガサス及びザスパクサツ群馬と連携し、団体ホームページ等で人権啓発動画を放映した。 ・パートナーシップ宣誓制度を運用するとともに、県民活動支援広聴課と協力しLGBTQ当事者を招いた協働ミーティングを開催した。 ・「インターネット上の誹謗中傷相談窓口」を民間団体に委託して運用し、県民からの相談受付を行った。 ・社会情勢の変化を踏まえ、「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」を改定した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま」等、様々な啓発事業を実施したため、人権尊重の意識が広まった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を凝らし、引き続き人権啓発活動や各種相談窓口を運営する。 ・「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に基づき、社会情勢に合わせた啓発事業を推進する。 | | | | |

◆R7年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体と連携し、「ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま」をオンラインで開催した。 ・群馬ダイヤモンドペガサス及びザスパクサツ群馬と連携し、人権啓発マッチを実施した他、団体ホームページ等で人権啓発動画を放映した。 ・パートナーシップ宣誓制度を運用するとともに、制度利用者の利便性の向上のため、宣誓制度自治体間連携への参加や東京都との個別の連携協定の締結を実施した。 ・「インターネット上の誹謗中傷相談窓口」を民間団体に委託して運用し、県民からの相談受付を行った。 ・「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」の進捗について、群馬県人権教育・啓発推進懇談会に意見照会し県政に反映した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま」等、様々な啓発事業を実施したため、人権尊重の意識が広まった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を凝らし、引き続き人権啓発活動や各種相談窓口を運営する。 ・「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に基づき、社会情勢に合わせた啓発事業を推進する。 | | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|-----------------|--|-----------|---------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 生活こども課 男女共同参画室 | 関連個別基本計画等 | 群馬県男女共同参画基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | I 一人ひとりを尊重する | | | | | | | |
| 施策目標 | 2 性別にかかわらず一人ひとりが尊重され、ともに支え合う社会を実現する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 性別に基づく固定観念が「生きづらさ」につながらないよう、男女ともに暮らしやすい社会づくりに向け、意識啓発に取り組む。 様々な場面で一人ひとりが個人に合った生き方を選択し、男女がともに参画できる環境づくりを進める。 男女共同参画推進拠点として、ぐんま男女共同参画センターにおける調査・研究、講座や研修会、情報発信など、広報・啓発の充実を図る。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 男女の地位の平等感(社会全体) | % | 17.4 | 35.0 | 実績 (③) | — | — | — | 17.5 |
| | | (R1年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | — | — | — | 0.6% |

(※)(実績-現状)÷(目標-現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | | | | |
|----------|---|-------|---|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所における男女共同参画推進員(676件)と、ぐんま女性活躍大応援団(386件)の設置・登録を促した。(令和4年3月末時点) 群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰および輝く女性表彰を実施した。 「管理職のためのジェンダー平等セミナー」や「女子高校生向けの理工系の魅力を伝えるセミナー」を動画で実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | セミナーや表彰の実施などにより、男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を行うことができた結果、ジェンダー平等に関する意識が以前より浸透した。また、男女共同参画推進員(R2:650件→R3:676件)及びぐんま女性活躍大応援団(R2:368件→R3:386件)の設置・登録数が増加した。現基本計画の検証及び次期計画(R8~12年度)の施策検討のため、県民意識調査を令和6年度に行う。 | | | |
| | | 今後の展開 | 男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き、講座や情報発信など、意識啓発に取り組む。 | | | |

◆R5年度

| | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所における男女共同参画推進員(694件)と、ぐんま女性活躍大応援団(392件)の設置・登録を促した。(令和5年3月末時点) 群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰および輝く女性表彰を実施した。 「男性の育児休業取得促進セミナー」や「女子高校生向けの理工系の魅力を伝えるセミナー」を動画で実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | セミナーや表彰の実施などにより、男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を行うことができた結果、ジェンダー平等に関する意識が以前より浸透した。また、男女共同参画推進員(18件)及びぐんま女性活躍大応援団(6件)の設置・登録数が増加した。現基本計画の検証及び次期計画(R8~12年度)の施策検討のため、県民意識調査を令和6年度に行う。 | | | |
| | | 今後の展開 | 男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き、講座や情報発信など、意識啓発に取り組む。 | | | |

◆R6年度

| | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所における男女共同参画推進員(712件)と、ぐんま女性活躍大応援団(400件)の設置・登録を促した。(令和6年3月末時点) 群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰および輝く女性表彰を実施した。 「令和モデルの育児と仕事セミナー」を対面で、「女子高校生向けの理工系の魅力を伝えるセミナー」を動画で実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | セミナーや表彰の実施などにより、男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を行うことができた結果、ジェンダー平等に関する意識が以前より浸透した。また、男女共同参画推進員(18件)及びぐんま女性活躍大応援団(8件)の設置・登録数が増加した。 | | | |
| | | 今後の展開 | 現基本計画の検証及び次期計画(R8~12年度)の施策検討のため、県民意識調査を行う。男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き、講座や情報発信など、意識啓発に取り組む。 | | | |

◆R7年度

| | | | | | | |
|----------|---|-------|---|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所における男女共同参画推進員(740件)と、ぐんま女性活躍大応援団(403件)の設置・登録を促した。(令和7年3月末時点) 群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰および輝く女性表彰を実施した。 「ジェンダー平等を考えるセミナー」及び「女子中高生向けの理工系の魅力を伝えるセミナー」を対面で実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | C(横ばい) | 分析 | セミナーや表彰の実施などにより、男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を行い、男女共同参画推進員(28件)及びぐんま女性活躍大応援団(3件)の設置・登録数は増加した。しかし、指標である「男女の平等感(社会全体)」については、令和6年度男女共同参画に関する県民意識調査の結果、「平等になっている」と回答した人の割合が17.5%にとどまり、確実な前進には至らなかった。 | | | |
| | | 今後の展開 | 県民意識調査の結果に基づき、現基本計画の検証及び次期計画(R8~R12年度)における施策の検討を行う。男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き、講座や情報発信など、意識啓発に取り組む。 | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|----------------|---|-----------|---------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 生活こども課 男女共同参画室 | 関連個別基本計画等 | 群馬県男女共同参画基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | I 一人ひとりを尊重する | | | | | | | |
| 施策目標 | 3 女性が自ら思い描く人生を生き、活躍できる社会を目指す | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性を対象とした人材育成を強化し、意識啓発やライフステージに応じた働き方等への支援に取り組む。 ・意欲ある女性の参画を促進するため、再就職や起業、女性の少ない職種等への就業を支援するとともに、女性の参画拡大について庁内各課が連携する。 ・県の審議会等における女性登用に積極的に取り組む。 ・地域をあげた女性の活躍を応援する体制づくりを進めるとともに、表彰制度により女性活躍の機運を醸成する。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 県の審議会等への女性の参画率 | % | 38.1 | 45.0 | 実績 (③) | 40.8 | 41.9 | 42.2 | 43.2 |
| | | (R2年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | 39.1% | 55.1% | 59.4% | 73.9% |

(※)(実績－現状)÷(目標－現状) ((③－①)÷(②－①))

◆R4年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・エンパワメント・ユースカレッジやとらいあんぐるんサロンなどの講座を通じて、女性のキャリアアップを支援した。 ・審議会等委員の候補者となり得る女性人材情報を集めた女性人材データベースを更新・周知した。 ・改選を迎える審議会等所管課へ出向き、女性委員の登用にに向けた依頼・アドバイスを行った。 ・ぐんま女性活躍大応援団への啓発、群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰・ぐんま輝く女性表彰を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等所管課の意識改革につながった。 ・関係団体に女性が少ないために適任者が見つからないケースが多く、参画率が伸び悩んだ。 | | | | |
| | | 今後の展開 | さらに前進させるため、取組の強化を要する。女性人材データベースの随時更新、各審議会改選時の依頼を徹底する。 | | | | |

◆R5年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・エンパワメント・ユースカレッジやとらいあんぐるんサロンなどの講座を通じて、女性のキャリアアップを支援した。 ・審議会等委員の候補者となり得る女性人材情報を集めた女性人材データベースを更新・周知した。 ・改選を迎える審議会等所管課へ出向き、女性委員の登用にに向けた依頼・アドバイスを行った。 ・ぐんま女性活躍大応援団への啓発、群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰・ぐんま輝く女性表彰を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等所管課の意識改革につながった。 ・関係団体に女性が少ないために適任者が見つからないケースもあり、参画率が伸びない審議会もあった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | さらに前進させるため、取組の強化を要する。女性人材データベースの随時更新、各審議会改選時の依頼を徹底する。 | | | | |

◆R6年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学生サマープログラムやとらいあんぐるんサロンなどの講座を通じて、女性のキャリアアップを支援した。 ・審議会等委員の候補者となり得る女性人材情報を集めた女性人材データベースを周知した。 ・改選を迎える審議会等所管課へ出向き、女性委員の登用にに向けた依頼・アドバイスを行った。 ・ぐんま女性活躍大応援団への啓発、群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰・ぐんま輝く女性表彰を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等所管課の意識改革につながった。 ・関係団体に女性が少ないために適任者が見つからないケースもあり、参画率が伸びない審議会もあった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | さらに前進させるため、取組を強化する。女性人材データベースの随時更新、各審議会改選時の依頼を徹底する。 | | | | |

◆R7年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等について学ぶ大学出張講座やとらいあんぐるんセミナーなどの講座を通じて、女性のキャリアアップを支援した。 ・審議会等委員の候補者となり得る女性人材情報を集めた女性人材データベースを周知した。 ・改選を迎える審議会等所管課へ出向き、女性委員の登用にに向けた依頼・アドバイスを行った。 ・ぐんま女性活躍大応援団への啓発、群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰・ぐんま輝く女性表彰を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等所管課の意識改革につながった。 ・関係団体に女性が少ないために適任者が見つからないケースもあり、参画率が伸びない審議会もあった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | さらに前進させるため、取組を継続する。更新予定である女性人材データベースの周知、各審議会改選時の依頼を徹底する。 | | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|--------------------------|--|-----------|-------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 地域福祉課 | 関連個別基本計画等 | 群馬県再犯防止推進計画 | | | | | |
| 基本方針 | I 一人ひとりを尊重する | | | | | | | |
| 施策目標 | 4 犯罪や非行をした人々を孤立させない社会を実現する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に策定した「群馬県再犯防止推進計画」により、再犯防止のための基本方針及び重点課題を推進する。 令和元年度に立ち上げた「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」において、関係機関の連携を強化する。 関係機関と連携し、「社会を明るくする運動」や講演会、人権啓発イベント等を通じた県民への理解促進活動を行う。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 再犯防止推進計画を策定した 県内市町村の数 | 市町村 | 1 | 18 | 実績 (③) | 12 | 19 | 25 | 27 |
| | | (R1年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | 64.7% | 105.9% | 141.2% | 152.9% |

(※)(実績-現状)÷(目標-現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | |
|--------------|--|-------|--|
| R3年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村の再犯防止担当課に対して、会議等において、再犯防止推進計画の策定を働きかけた。 「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関の連携を強化した。 「ぐんま・つなごうネット」と共催し、オンラインによる関係者向け研修会を実施した。 「社会を明るくする運動」の一環として、関係機関と連携し、作文コンテストの表彰式やパネル展などを実施した。 | | |
| 進捗 評価 | B(前進) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村への計画策定を働きかけることで、計画策定市町村の数を増やすことができた。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、市町村に再犯防止計画策定の必要性を説明し、各市町村の計画策定を推進する。 ネットワーク会議を運営し、関係機関の連携を強化するとともに、県民向けの啓発事業を実施する。 |

◆R5年度

| | | | |
|--------------|--|-------|---|
| R4年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村の再犯防止担当課に対して、会議等において、再犯防止推進計画の策定を働きかけた。 「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関の連携を強化した。 「ぐんま・つなごうネット」と共催し、オンラインによる関係者向け研修会を実施した。 「社会を明るくする運動」の一環として、関係機関と連携し、作文コンテストの表彰式やパネル展などを実施した。 | | |
| 進捗 評価 | A(目標達成) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村への計画策定を働きかけることで計画策定市町村の数を増やし、目標を達成することができた。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、市町村に再犯防止計画策定の必要性を説明し、計画策定を推進する。 ネットワーク会議を運営し、関係機関の連携を強化するとともに、県民向けの啓発事業を実施する。 令和5年度に「群馬県再犯防止推進計画」を改訂し、実効性のある取り組みを推進することで、令和10年度までに35市町村で計画を策定する。 |

◆R6年度

| | | | |
|--------------|---|-------|---|
| R5年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 群馬県再犯防止推進計画を改訂した。 市町村の再犯防止担当課に対して、会議等において、再犯防止推進計画の策定を働きかけた。 「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関の連携を強化した。 「ぐんま・つなごうネット」と共催し、再犯防止に関する映画の上映会および監督トークを実施した。 「社会を明るくする運動」の一環として、関係機関と連携し、作文コンテストの表彰式やパネル展などを実施した。 | | |
| 進捗 評価 | A(目標達成) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村への計画策定を働きかけることで計画策定市町村の数を増やし、目標を達成することができた。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、市町村に再犯防止計画策定の必要性を説明し、計画策定を推進する。 ネットワーク会議を運営し、関係機関の連携を強化するとともに、県民向けの啓発事業を実施する。 |

◆R7年度

| | | | |
|--------------|---|-------|---|
| R6年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村の再犯防止担当課に対して、会議等において、再犯防止推進計画の策定を働きかけた。 「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関の連携を強化した。 「ぐんま・つなごうネット」と共催し、再犯防止に関する勉強会を実施した。 「社会を明るくする運動」の一環として、関係機関と連携し、作文コンテストの表彰式やパネル展などを実施した。 | | |
| 進捗 評価 | A(目標達成) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村への計画策定を働きかけることで計画策定市町村の数を増やし、目標を達成することができた。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、未策定の市町村に再犯防止計画策定の必要性を説明し、計画策定を推進する。 ネットワーク会議を運営し、関係機関の連携を強化するとともに、県民向けの啓発事業を実施する。 令和5年度に「群馬県再犯防止推進計画」を改訂し、実効性のある取り組みを推進することで、令和10年度までに35市町村で計画を策定する。 |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | |
|------|---|-----------|-------------------------------|
| 担当課 | 県民活動支援・広聴課 | 関連個別基本計画等 | 協働による地域づくりに関する指針 群馬県情報公開条例 |
| 基本方針 | Ⅱ 一人ひとりの活動を支える | | |
| 施策目標 | 5 様々な主体が協働・共創する社会を実現する | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決に取り組む様々な主体の協働・共創を支援する。 市民活動支援センター等におけるNPO法人やボランティア団体等の相談や支援の充実を図る。 災害時に備え、災害ボランティアの確保・育成を行うとともに、災害ボランティアの受入体制づくりを推進する。 県政に係る幅広い情報の提供に仕組み、県民の意見を積極的に取り入れる。 | | |

| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
|----------------------|----|--------|--------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 群馬県とNPO法人等民間団体との協働件数 | 件 | 140 | 400 | 実績 (③) | 493 | 509 | 487 | 543 |
| | | (R1年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | 135.8% | 141.9% | 133.5% | 155.0% |

(※)(実績-現状)÷(目標-現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | |
|----------|--|-------|---|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 全県的な課題や地域の身近な課題の解決のための協働ミーティングを実施するとともに、協働・共創についての理解を深めるセミナーを実施した。 NPO・ボランティアサロンぐんまの機能を強化するとともに、市民活動支援センタースタッフのスキルアップ研修や情報交換会を開催し、相談体制の充実を図った。 災害ボランティアセミナーの実施や災害ボランティア動画の配信により、災害ボランティアの確保・育成を行った。 県ホームページや県民センターを活用して幅広い県政情報を提供するとともに、電子申請による県民意見提出の周知に努めた。 | | |
| 進捗評価 | A(目標達成) | 分析 | 協働ミーティングやセミナーの実施、支援センターの相談体制の充実により、協働に対する理解が深まり、協働件数の増加に繋がった。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き、協働の理解を深めるためのセミナー等、協働・共創を推進するための施策を実施し、NPO法人等との協働を増やす(R5目標:500件)ことにより、様々な主体が協働・共創する社会の実現を目指す。 |

◆R5年度

| | | | |
|----------|---|-------|---|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 全県的な課題の解決のための協働ミーティングを実施するとともに、協働・共創についての理解を深めるセミナーを実施した。 NPO・ボランティアサロンぐんまの機能を強化するとともに、市民活動支援センタースタッフのスキルアップ研修や情報交換会を開催し、相談体制の充実を図った。 災害ボランティアセミナーの実施や災害ボランティア動画の配信により、災害ボランティアの確保・育成を行った。 県ホームページや県民センターを活用して幅広い県政情報を提供するとともに、電子申請による県民意見提出の周知に努めた。 | | |
| 進捗評価 | A(目標達成) | 分析 | 協働ミーティングやセミナーの実施、支援センターの相談体制の充実により、協働に対する理解が深まり、協働件数の増加に繋がった。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き、協働の理解を深めるためのセミナー等、協働・共創を推進するための施策を実施し、NPO法人等との協働を増やす(R6目標:520件)ことにより、様々な主体が協働・共創する社会の実現を目指す。 |

◆R6年度

| | | | |
|----------|---|-------|---|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 全県的な課題解決のための協働ミーティングを実施するとともに、協働・共創についての理解を深めるセミナーを実施した。 NPO・ボランティアサロンぐんまの機能を強化するとともに、市民活動支援センタースタッフのスキルアップ研修や情報交換会を開催し、相談体制の充実を図った。 ボランティアマッチングサイト「ボラスルン」を運用するとともに、NPO・ボランティアサロンぐんまの機能インターンシップinぐんまを実施し、ボランティア実践者の確保を図った。 協働による地域づくりの現状と課題を把握するため、協働による地域づくりの推進に係る地区別検討会議を県内4か所で開催した。 災害ボランティアに関して、県社協との協働、セミナー開催、動画配信などにより、その啓発や育成などに取り組んだ。 県ホームページや県民センターを活用して幅広い県政情報を提供するとともに、電子申請による県民意見提出周知に努めた。 | | |
| 進捗評価 | A(目標達成) | 分析 | 協働ミーティングやセミナーの実施、支援センターの相談体制の充実により、協働に対する理解が深まった。県が関与する協働件数はやや減少したが、民間同士での協働事例を見聞きする機会が増えており、成果はある。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き、協働の理解を深めるためのセミナー等、協働・共創を推進するための施策を実施し、NPO法人等との協働を増やすことにより、様々な主体が協働・共創する社会の実現を目指す。 |

◆R7年度

| | | | |
|----------|---|-------|---|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> NPO・ボランティアサロンぐんまの機能を強化するとともに、市民活動支援センタースタッフのスキルアップ講座や情報交換会を開催し、相談体制の充実を図った。 NPOの運営基盤強化のためセミナーなどを開催した。 協働推進のため、NPOと企業のマッチングにかかる行事を開催した。 NPOの次世代の担い手確保のため、若者を対象としたNPOを知るワークショップと、インターンシップinぐんまを開催した。 ボランティアマッチングサイト「ボラスルン」を運用し、募集団体と応募参加者の増大を図り、もってボランティアを始める機会提供と関連人口の拡大に取り組んだ。 災害ボランティアに関して、群馬県社協との協働、講座開催、動画配信、関連団体との連携、などにより、その啓発や育成などに取り組んだ。 県ホームページや県民センターを活用して幅広い県政情報を提供するとともに、県民意見提出制度により、県政に対する県民の意見の反映に努めた。 | | |
| 進捗評価 | A(目標達成) | 分析 | 協働ミーティングやセミナーの実施、支援センターの相談体制の充実により、協働に対する理解が深まった。県が関与する協働件数はやや減少したが、民間同士での協働事例を見聞きする機会が増えており、成果はある。 |
| | | 今後の展開 | 引き続き、協働の理解を深めるためのセミナー等、協働・共創を推進するための施策を実施し、NPO法人等との協働を増やすことにより、様々な主体が協働・共創する社会の実現を目指す。 |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|---------|---|-----------|------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 消費生活課 | 関連個別基本計画等 | 群馬県消費者基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | Ⅱ 一人ひとりの活動を支える | | | | | | | |
| 施策目標 | 6 持続可能な社会に向けた消費行動を推進する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を実現するため、人や社会、地域や環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」の普及啓発に取り組む。 エシカル消費に関する理解を深め、消費行動に繋げるための消費者教育学習講座等を実施する。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| — | — | — | — | 実績 (③) | — | — | — | — |
| | | | | 進捗率 (※) | — | — | — | — |

(※)(実績－現状)÷(目標－現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> R2年度に作成した普及啓発用動画『「エシカル消費」はじめませんか。』を群馬県YouTubeチャンネル「tsulunos」にて公開した。 SDGsの普及に取り組む関東学園大学と連携し、エシカル消費をテーマとした消費者教育講演会を群馬県金融広報委員会との共催により開催した。 エシカル消費出前講座を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 目標数値(指標)を設定していないが、R3年度新たに出前講座を実施したことをはじめ、動画や講演会などを通じてエシカル消費に関する普及啓発を行った。 | | | | |
| | | 今後の展開 | エシカル消費普及啓発事業として新たに「ぐんまエシカル川柳」の作品募集を実施するなど、広く県民の理解を深める取組を行う。 | | | | |

◆R5年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ぐんまエシカル川柳の募集を行った。(募集期間:R4年7月1日～9月9日、優秀作品の授賞式:R4年11月19日) 消費者としてどのような選択をすることが「エシカル消費」なのかを考えることを目的として映画鑑賞会及び講演会を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 群馬エシカル川柳の募集や映画上映会を実施することにより、エシカル消費の認知度を高めることに寄与した。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 大学と連携し、大学生、県内消費生活相談員及び教育関係者等を対象として、エシカル消費をテーマに公開講座を実施するとともに、親子科学教室やエシカル出前講座をとおして、エシカル消費に関して身近なことから取り組んでもらうよう、普及啓発を行っていく。 | | | | |

◆R6年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> プラスチックのリサイクルをテーマに親子科学教室を開催した。 エシカル消費出前講座を実施した。 大学と連携し、大学生、県内消費生活相談員及び教育関係者等を対象として、エシカル消費をテーマに公開講座を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 公開講座、親子科学教室、エシカル出前講座の開催により、単なるエシカル消費の周知だけではなく、参加者に主体的に考えてもらうきっかけになった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 大学と連携してエシカル消費をテーマに公開講座を実施するとともに、親子科学教室の開催、食品ロス削減全国大会でのブース出展により、エシカル消費について更なる周知啓発を図る。 | | | | |

◆R7年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|---|--|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減全国大会in群馬にエシカル消費をテーマに出展した。 エシカル消費出前講座を実施した。 大学と連携し、大学生、県内消費生活相談員及び教育関係者等を対象として、エシカル消費をテーマに公開講座を実施した。 | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 公開講座、イベント出展、エシカル出前講座の開催により、単なるエシカル消費の周知だけではなく、参加者に主体的に考えてもらうきっかけになった。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 大学と連携してエシカル消費をテーマに公開講座を実施するとともに、親子科学教室の開催、関連イベント出展により、エシカル消費について更なる周知啓発を図る。 | | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------|------------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 消費生活課 | 関連個別基本計画等 | 群馬県消費者基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | Ⅲ 一人ひとりを被害から守る | | | | | | | |
| 施策目標 | 7 消費者の権利を尊重し、被害を未然に防止する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者被害を未然に防止するとともに、消費者が合理的に商品やサービスを選択できるよう、消費者教育、啓発、情報発信を行う。 また、消費生活相談員を対象としたレベルアップ研修、巡回訪問、経由相談等により、県・市町郡センターの機能を強化し、消費者被害の救済を図る。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 消費者トラブルに遭った人の割合 | % | 10.9 (R1年度) | 10.0以下 (R7年度) | 実績 (③) | — | — | — | — |
| | | | | 進捗率 (※) | — | — | — | — |

(※)(実績-現状)÷(目標-現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|---|--|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 啓発動画や教材、啓発資料等を作成し、成年年齢引下げに対応するための消費者教育に取り組んだ。 消費者を対象とした出前講座や各種広報媒体を活用した情報発信、相談員を対象としたレベルアップ研修や巡回訪問等を実施した。 令和3年度相談件数(県内センター・暫定値):15,106件(R2:16,915件)、あっせん解決率:93.8%(R2:93.3%) | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 成年年齢引下げによる消費者被害を防止するため、関係団体や教育現場と連携し、啓発動画(6本)、高等学校向け教材を活用した模擬授業動画(2本)、特別支援学校向け教材を新たに作成し、高校生等若者に対する消費者教育を集中的に展開した。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 継続して消費者啓発や相談業務の強化に向けた事業を行う。特に、若者への成年年齢の引き下げの影響について、相談状況を把握し、適時・的確に、啓発や情報発信を行っていく。 | | | | |

◆R5年度

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 成年年齢の引き下げに対応するため、教育委員会、群馬弁護士会、群馬県金融広報委員会と連携して令和元年度に作成した「ぐんま版消費者教育教材」の活用を中心に、高等学校等における消費者教育を推進した 消費者を対象とした出前講座や各種広報媒体を活用した情報発信、相談員を対象としたレベルアップ研修や巡回訪問等を実施した。 靈感商法等悪質商法被害者支援や被害防止のために、啓発リーフレット及び啓発物品等を配布するとともに、フリーペーパー掲載による消費相談窓口等の周知、靈感商法特別法律相談を実施した。また、相談対応者特別研修を実施し、相談体制を強化した。 令和4年度相談件数(県内センター・確定値):15,929件(R3:16,164件)、あっせん解決率:95.0%(R3:93.7%) | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 高校生成年の被害防止のための教員を対象にした研修の実施や、靈感商法等悪質商法被害者支援や被害防止のための啓発活動や法律相談の実施など、新規の取組を行った結果、令和4年度のあっせん解決率が増加した。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> 継続して消費者啓発や相談業務の強化に向けた事業を行う。 若者への成年年齢の引き下げの影響について、相談状況を把握し、適時・的確に、啓発や情報発信を行っていく。 高齢者による相談が消費相談の約4割を占める状況を鑑み、高齢者の被害未然防止に向けた普及啓発を行っていく。 | | | | |

◆R6年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 「ぐんま版消費者教育教材」の活用を推進するとともに、群馬県総合教育センターと連携して教員を対象にした研修を実施するなど、消費者教育を推進した。 消費者を対象とした出前講座や各種広報媒体を活用した情報発信、相談員を対象としたレベルアップ研修や巡回訪問等を実施した。 令和5年度相談件数(県内センター・確定値):16,688件(R4:15,929件)、あっせん解決率:95.0%(R4:93.3%) | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 出前講座について、県内学校、社会福祉協議会、地域包括センター等795箇所(36回)に周知を行った結果、学生～高齢者まで幅広い世代を対象に52回実施し、前年度(36回)を上回った。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> 継続して消費者啓発や相談業務の強化に向けた事業を行う。 若者の相談状況を把握し、適時・的確に、啓発や情報発信を行っていく。また、「ぐんま版消費者教育教材」の活用については、高等学校等を訪問しPRを行う。 高齢者による相談が消費相談の約4割を占める状況を鑑み、高齢者の被害未然防止に向けた普及啓発を行っていく。 | | | | |

◆R7年度

| | | | | | | | |
|----------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 「ぐんま版消費者教育教材」の活用を推進するとともに、群馬県総合教育センターと連携して教員を対象にした研修を実施するなど、消費者教育を推進した。 消費者を対象とした出前講座や各種広報媒体を活用した情報発信、相談員を対象としたレベルアップ研修や巡回訪問等を実施した。 令和6年度相談件数(県内センター・確定値):16,245件(R5:16,688件)、あっせん解決率:92.7%(R5:95.0%) | | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 「ぐんま版消費者教育教材」については、高等学校と特別支援学校を11校訪問し、直接PRを行い、一層の活用を図った。また、消費者被害防止啓発動画2本と消費生活センター紹介動画1本を作成し、消費者トラブルについて、県民に広く周知及び啓発を行った。 | | | | |
| | | 今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> 継続して消費者啓発や相談業務の強化に向けた事業を行う。 若者の相談状況を把握し、適時・的確に、啓発や情報発信を行っていく。また、「ぐんま版消費者教育教材」の活用については、校長会や教員研修会を直接訪問しPRを行う。 高齢者による相談は、依然として増加傾向にあり、全体の約4割を占める状況を鑑み、高齢者の被害防止に向けた普及啓発を行っていく。 | | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|---------|---|-----------|------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 消費生活課 | 関連個別基本計画等 | 群馬県消費者基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | Ⅲ 一人ひとりを被害から守る | | | | | | | |
| 施策目標 | 8 特殊詐欺や、子ども・女性への犯罪等の被害を防止する | | | | | | | |
| 事業概要 | 特殊詐欺被害防止や子ども・女性の安全確保のため、子ども向け・大人向け防犯出前講座を実施するとともに、各種広報媒体を活用して情報発信を行う。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| — | — | — | — | 実績 (③) | — | — | — | — |
| | | | | 進捗率 (※) | — | — | — | — |

(※)(実績-現状)/(目標-現状) ((③-①)/(②-①))

◆R4年度

| | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|
| R3年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・県警と協力し、防犯ハンドブックなどの啓発資材の作成、子ども向け・大人向けの防犯出前講座を実施した。 ・特殊詐欺被害防止対策として、特殊詐欺被害防止キャンペーン(啓発動画、Web広告、チラシ・ポスター、啓発資材等を活用した総合的な啓発)など、特殊詐欺等根絶協議会と連携した啓発事業を行った。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 警察・行政・事業者・県民が一体となって取組を進めており、「刑法犯認知件数」は17年連続で減少している(令和3年:9,079件)。一方で、特殊詐欺の手法は多様化し、依然として被害が発生している。 | | | |
| | | 今後の展開 | 防犯知識の習得及び防犯意識の向上に向けた事業を継続的に実施する。特殊詐欺被害防止については、電話機対策を中心として実効的な啓発事業を進めていく。 | | | |

◆R5年度

| | | | | | | |
|----------|--|-------|---|--|--|--|
| R4年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・県警と連携し、防犯ハンドブックなどの啓発資材の作成、子ども向け・大人向けの防犯出前講座を実施した。 ・特殊詐欺被害防止対策として、特殊詐欺被害防止キャンペーン(啓発動画、Web広告、チラシ・ポスター、啓発資材等を活用した総合的な啓発)など、特殊詐欺等根絶協議会と連携した啓発事業を行った。 ・県民防犯の日記念事業として、県警ふれあいコンサートを実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 前年度に比べ、各種出前講座の開催回数を約2倍に増やすとともに、県民防犯の日記念事業として4年ぶりに県警ふれあいコンサートを実施し、地域防犯力の向上に役立てた。 | | | |
| | | 今後の展開 | 防犯知識の習得及び防犯意識の向上に向けた事業を継続的に実施する。特殊詐欺被害防止については、電話対策装置を中心として実効的な啓発事業を進めていく。 | | | |

◆R6年度

| | | | | | | |
|----------|--|-------|--|--|--|--|
| R5年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・県警と連携し、防犯ハンドブックなどの啓発資材の作成、子ども向け・大人向けの防犯出前講座を実施した。 ・特殊詐欺被害防止対策として、特殊詐欺被害防止キャンペーン(啓発動画、Web広告、デジタルサイネージ、テレビCM、チラシ・ポスター、啓発資材等を活用した総合的な啓発)など、特殊詐欺等根絶協議会と連携した啓発事業を行った。 ・県民防犯の日記念事業として、県警ふれあいコンサートを実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 前年度に比べ、各種出前講座の開催回数を増やすとともに、特殊詐欺被害防止キャンペーンでは特殊詐欺電話対策装置を計1,000台配付した。あわせて、デジタルサイネージやテレビCMによる啓発などを実施し、特殊詐欺被害防止に役立てた。 | | | |
| | | 今後の展開 | 引き続き、防犯意識の習得及び防犯意識の向上に向けた事業を実施していく。特殊詐欺被害防止については、電話対策装置の普及促進を中心として実効的な啓発事業を進めていく。 | | | |

◆R7年度

| | | | | | | |
|----------|---|-------|---|--|--|--|
| R6年度事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・県警と連携し、防犯ハンドブックなどの啓発資材の作成、子ども向け・大人向けの防犯出前講座を実施した。 ・特殊詐欺被害防止対策として、特殊詐欺被害防止キャンペーン(啓発動画、Web広告、デジタルサイネージ、テレビCM、チラシ・ポスター、啓発資材等を活用した総合的な啓発)など、特殊詐欺等根絶協議会と連携した啓発事業を行った。 ・ぐんま広報や地域FMなどを活用して時季に合わせた情報発信を行ったほか、県民防犯の日記念事業として、県警ふれあいコンサートを実施した。 | | | | | |
| 進捗評価 | B(前進) | 分析 | 特殊詐欺被害防止キャンペーンでは特殊詐欺電話対策装置を計1,000台配付した。あわせて、デジタルサイネージやテレビCMによる啓発などを実施し、特殊詐欺被害防止に役立てた。各種広報媒体を活用して広報啓発を実施し、県民の防犯力向上に貢献した。 | | | |
| | | 今後の展開 | 引き続き、防犯意識の習得及び防犯意識の向上に向けた事業を実施していく。特殊詐欺被害防止については、電話対策装置の普及促進を中心として実効的な啓発事業を進めていく。 | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----------|---------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 生活こども課 | 関連個別基本計画等 | 群馬県犯罪被害者等基本計画 | | | | | |
| 基本方針 | Ⅲ 一人ひとりを被害から守る | | | | | | | |
| 施策目標 | 9 犯罪被害者等が安心して暮らせる社会を実現する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 「県犯罪被害者等支援条例」及び「県犯罪被害者等基本計画」に基づき、警察、民間被害者支援団体及び市町村等関係機関と連携し、犯罪被害者等に対する相談・支援体制の充実を図るとともに、犯罪被害者等への理解を深める啓発活動に取り組む。 性犯罪や性暴力被害者等を支援するため、医療機関や民間被害者支援団体、警察等と連携して性暴力被害者サポートセンターを運営し、相談員による相談業務、外部機関への同行支援及びカウンセリング並びに産婦人科医療の提供等を一体的に実施することで、被害者の心身の負担軽減と早期の健康回復を図るとともに、被害の潜在化を防止する。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 犯罪被害者等を対象とした支援条例を策定した市町村の数 | 市町村 | 1 | 12 | 実績 (③) | 3 | 9 | 33 | 35 |
| | | (R2年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | 18.2% | 72.7% | 290.9% | 309.1% |

(※)(実績－現状)÷(目標－現状) ((③－①)÷(②－①))

◆R4年度

| | | | | | | | |
|--------------|--|-------|--|--|--|--|--|
| R3年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関で構成する「県犯罪被害者等支援推進協議会」を運営し、「県犯罪被害者等基本計画」を改定した。 被害者支援団体に委託して、相談員1名を設置し、犯罪被害者等を対象とした相談支援を行った。 啓発物品の作成及び配布等による啓発を実施した。 性暴力被害者サポートセンターを運営し、相談員2名による相談支援を行ったほか、関係者向け研修会などを実施した。 | | | | | | |
| 進捗 評価 | B(前進) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村担当課に条例策定を働きかけることで、条例策定市町村を増やすことが出来た。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、条例未策定市町村に対して、条例策定を働きかける。各種の啓発活動を行うほか、被害者に対する相談・支援体制の充実を進めていく。 | | | | |

◆R5年度

| | | | | | | | |
|--------------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R4年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関で構成する「県犯罪被害者等支援推進協議会」を運営し、「県犯罪被害者等基本計画」を推進した。 被害者支援団体に委託して、相談員1名を設置し、犯罪被害者等を対象とした相談支援を行った。 オンラインによる講演会等の開催や、啓発物品の作成及び配布等による啓発を実施した。 性暴力被害者サポートセンターを運営し、相談員4名による相談支援を行ったほか、関係者向け研修会などを実施した。 | | | | | | |
| 進捗 評価 | B(前進) | 分析 | 関係機関と連携し、市町村担当課に条例策定を働きかけることで、条例策定市町村を増やすことが出来た。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、条例未策定市町村に対して、条例策定を働きかける。各種の啓発活動を行うほか、被害者に対する相談・支援体制の充実を進めていく。 | | | | |

◆R6年度

| | | | | | | | |
|--------------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R5年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関で構成する「県犯罪被害者等支援推進協議会」を運営し、「県犯罪被害者等基本計画」を推進した。 被害者支援団体に委託して、相談員1名を設置し、犯罪被害者等を対象とした相談支援を行った。 対面での講演会等の開催や、啓発物品の作成及び配布等による啓発を実施した。 性暴力被害者サポートセンターを運営し、相談員4名による相談支援を行ったほか、関係者向け研修会などを実施した。 | | | | | | |
| 進捗 評価 | A(目標達成) | 分析 | 個別の市町村訪問や、県警等の関係機関との連携により、市町村担当課に条例策定を強く働きかけることで、条例策定市町村を増やすことができた。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 引き続き関係機関と連携し、条例未策定市町村に対して、条例策定を働きかける。各種の啓発活動を行うほか、被害者に対する相談・支援体制の充実を進めていく。 | | | | |

◆R7年度

| | | | | | | | |
|--------------|---|-------|--|--|--|--|--|
| R6年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関で構成する「県犯罪被害者等支援推進協議会」を運営し、「県犯罪被害者等基本計画」を推進した。 被害者支援団体に委託して、相談員1名を設置し、犯罪被害者等を対象とした相談支援を行った。 対面での講演会等の開催や、啓発物品の作成及び配布等による啓発を実施した。 性暴力被害者サポートセンターを運営し、相談員4名による相談支援を行ったほか、関係者向け研修会などを実施した。 | | | | | | |
| 進捗 評価 | A(目標達成) | 分析 | 市町村周知や、県警等の関係機関との連携により、市町村担当課に条例策定を強く働きかけることで、県内全市町村において条例策定を達成することができた。 | | | | |
| | | 今後の展開 | 各種の啓発活動を行うほか、被害者に対する多機関・機関内ワンストップ支援体制の充実を進めていく。 | | | | |

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(個票)

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------|-------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 担当課 | 生活こども課 男女共同参画室 | 関連個別 基本計画等 | ぐんまDV対策推進計画 | | | | | |
| 基本方針 | Ⅲ 一人ひとりを被害から守る | | | | | | | |
| 施策目標 | 10 配偶者等からの暴力を許さない社会を実現する | | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 配偶者等からの暴力の予防教育・広報啓発により、理解の促進と早期発見、発生の予防を図る。 DV被害者等が相談しやすいような体制の充実・強化を促進する。 民間団体と連携し、DV被害者等の円滑な自立を支援する。 | | | | | | | |
| 結果を示す指標 | 単位 | 現状(①) | 目標(②) | 区分 | R4年度 (R3実績を評価) | R5年度 (R4実績を評価) | R6年度 (R5実績を評価) | R7年度 (R6実績を評価) |
| 配偶者暴力相談支援センター 数(県・市町村合計) | か所 | 7 | 12 | 実績 (③) | 7 | 7 | 8 | 9 |
| | | (R2年度) | (R7年度) | 進捗率 (※) | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 40.0% |

(※)(実績-現状)÷(目標-現状) ((③-①)÷(②-①))

◆R4年度

| | | | |
|------------------|--|-----------|--|
| R3年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> デートDV防止啓発講座開催回数:7校9回(中学校1校1回、高校3校3回、大学3校5回) 広報啓発資料を学校・病院・警察・民生委員等に配布(相談窓口カード:86,700部、一般向けリーフレット:20,500部、若年者向けリーフレット:150,000部) 配偶者暴力相談支援センター設置数:7か所(新設なし) | | |
| 進 捗 評 価 | C(横ばい) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> 講座開催や資料配布により、DV予防啓発に繋がった。 市町村の配偶者暴力相談支援センターは新設されなかった。 |
| | | 今後の 展開 | 配偶者暴力相談支援センターについて、積極的に男女共同参画を推進している市町村を中心に、設置を促す。 |

◆R5年度

| | | | |
|------------------|---|-----------|--|
| R4年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> デートDV防止啓発講座開催回数:7校8回(高校2校2回、大学3校4回、専門学校1校1回、特別支援学校1校1回) 広報啓発資料を学校・病院・警察等に配布(一般向けリーフレット:10,000部、若年者向けリーフレット:100,000部) 配偶者暴力相談支援センター設置数:7か所(新設なし) | | |
| 進 捗 評 価 | C(横ばい) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> 講座開催や資料配布により、DV予防啓発に繋がった。 市町村の配偶者暴力相談支援センターは新設されなかった。 |
| | | 今後の 展開 | 配偶者暴力相談支援センターについて、積極的に男女共同参画を推進している市町村を中心に、設置を促す。 |

◆R6年度

| | | | |
|------------------|--|-----------|--|
| R5年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> デートDV防止啓発講座開催回数:9校10回(中学校1校1回、高校4校4回、特別支援学校1校1回、大学2校3回、専門学校1校1回) 広報啓発資料を学校・病院・警察等に配布(一般向けリーフレット:8,000部、若年者向けリーフレット:120,000部) 配偶者暴力相談支援センター設置数:8か所(新設1か所) | | |
| 進 捗 評 価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> 講座開催や資料配布により、DV予防啓発に繋がった。 市町村の配偶者暴力相談支援センターが1か所新設された。 |
| | | 今後の 展開 | 配偶者暴力相談支援センターについて、積極的に男女共同参画を推進している市町村を中心に、設置を促す。 |

◆R7年度

| | | | |
|------------------|--|-----------|--|
| R6年度 事業結果 | <ul style="list-style-type: none"> デートDV防止啓発講座開催回数:10校11回(中学校4校4回、高校3校3回、特別支援学校1校1回、大学2校3回) 広報啓発資料を学校・病院・警察等に配布(一般向けリーフレット:8,000部、若年者向けリーフレット:130,000部) 配偶者暴力相談支援センター設置数:9か所(新設1か所) | | |
| 進 捗 評 価 | B(前進) | 分析 | <ul style="list-style-type: none"> 講座開催や資料配布により、DV予防啓発に繋がった。 市町村の配偶者暴力相談支援センターが1か所新設された。 |
| | | 今後の 展開 | 配偶者暴力相談支援センターについて、積極的に男女共同参画を推進している市町村を中心に、設置を促す。 |